

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く

166

米原市の歴史文化の特徴④

「巷」の展開

東西南北の道と「巷」

伊吹山と霊仙山の麓には細く伸びる谷間が形成されています。関ヶ原町から米原市を結ぶこの谷間は、最も狭いところわずか五〇〇メートルほどの幅しかありません。そんな狭小な谷間を、古くは縄文時代から人々が行き交っていました。米原の縄文人は、すでに各地と広く活発な交流をしていたことが、これまでの発掘調査からわかっています。人や物が行き交う道には、人のにぎわう「巷」が生まれます。その道は古代以降次第に人々から「東山道」(中山道)と呼ばれるようになり、日本の東西を結ぶ国家の道(官道)として発展し、人や物だけでなく、文化さえもが行き交うようになりました。自然が作り出した細く伸びる谷間が、現代においては名神高速道路や東海道新幹線が敷設され、日本の交通史上において決して欠かすことのできない大動脈へと成長していくのです。

東山道は、古代律令国家において畿内から全国に整備された東海道など七道の一つであり、それにより畿内から東国へ安定的、かつ迅速に人や物資の移動が可能となりました。陸路だけでなく、天野川河

口付近に置かれた古代の朝妻湊や近世に整備される米原湊は、湖上交通の東の玄関口として大いににぎわいをみせました。そして、人や物の往来だけでなく、清らかな水をはじめとしたこの地独自の名所・名産が、旅行く人々の滞留を促し、近世以降、柏原や醒井など多くの宿場町が置かれるようになります。同様に、中世から近世にかけて伊吹山東麓を通過する、北国街道の木之本から関ヶ原を結ぶ北国脇往還も北陸と畿内、東国を結ぶ動脈の一つでした。本市の独自の地形である狭い谷間を通過する東西の陸路、伊吹山麓を通過する陸路、湖岸部を南北に通過する陸路、琵琶湖に繋がる川と内湖の湖上路の四つの陸路と湖上路が結びついた道は、日本の東西南北をつないでいきます。それはまさに大きな「巷」の形成です。

戦国時代の「巷」

「巷」は、人や物の往来のみでなく、戦の道としても、歴史の分かれ道としても存在価値をもっていました。古代史上最大の内乱といわれた壬申の乱では、米原市を通る東山道が大海人皇子の東国から近江大津

宮へ侵攻する進軍ルートとなり、ここで近江朝廷軍に勝利した大海人皇子は天武天皇として即位します。

戦国時代には、この道沿いに多くの城砦が築かれることになりました。北近江の京極氏と南近江の六角氏の近江における覇権争いの最前線であり、天下を目指した織田信長も、上洛を目指した近江侵攻の第一歩としてこの地域を攻略し、畿内への通路を確保しました。関ヶ原の合戦では、西軍が東山道を通って関ヶ原に布陣し、東軍の徳川家康と対峙しました。

このように、米原の自然が生み出した谷間の道は、いつの時代も多くの人や物が通っていきました。道行く人々は、ときに米原に滞留し、名所・名産を愛で、さまざまな文化を残していきました。ときには、この道を通った軍勢がやがて日本の歴史を大きく動かしました。かつて縄文人たちが歩いた狭小な谷間は、日本の大動脈として欠かすことのできない道へと発展していったのです。(生涯学習課)



写真:「東西を結ぶ谷間」(柏原空撮)

消費生活相談コーナー

クーリング・オフって何？

訪問販売などで契約してしまった場合に一定期間であれば無条件で一方向的に契約を解除できる制度のことです。



消費生活相談員より一言

訪問販売などで契約をした後、書面を受け取った日から8日以内にはがきなどの書面や電子メールなどの電磁的記録による通知で契約解除ができます。



「おかしいな」と思ったら
一人で悩まず、
まずは消費者生活相談窓口へ
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)
相談専用 ☎53-5110
(受付) 平日 9時30分~16時

米原警察署情報 関米原警察署 ☎52-0110

秋の全国交通安全運動を実施します!

9月21日(水)~30日(金)

運動の重点は以下のとおりです。

- 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止
- 飲酒運転の根絶
- 自転車の交通ルール遵守の徹底
- 横断歩道利用者ファースト運動の推進



令和4年市内交通事故数 (7月末時点)

件数 49件 (+22件) 死者 1人(-1人)
傷者 63人 (+35人) ※ ()内は前年比